第7章　取り組むべき課題

公共交通や公共交通を取り巻く環境に関する現状と問題点から、本計画において取り組むべき課題を整理しました（カッコ内の番号は対応する現状・問題点）。

課題１　既存資源を活かした効果的・効率的な地域公共交通網の再構築（①②③⑤⑥⑦⑧⑨）

限られた財源の中で公共交通を維持し利便性を高めるためには、幹線・支線の役割を明確にした上で、既存資源（車両・運転手）を効果的・効率的に活用し、ニーズに即した地域公共交通網の再構築を行う必要があります。

課題２　地域間格差の解消に向けた運行形態の見直し（①④⑥⑧）

六日市地域と柿木村地域のデマンド型乗合交通・スクールバスの地域間格差を解消するために、運行形態の見直しを図る必要があります。

課題３　交通結節点の明確化と待合環境の改善（①⑩）

柿木村地域では、六日市地域に行く場合に乗り継ぎが必要になるため、交通結節点を明確にした上で、乗継の不安や不便を解消するために待合環境を改善する必要があります。

課題４　タクシー事業の存続に向けた取組（①⑨）

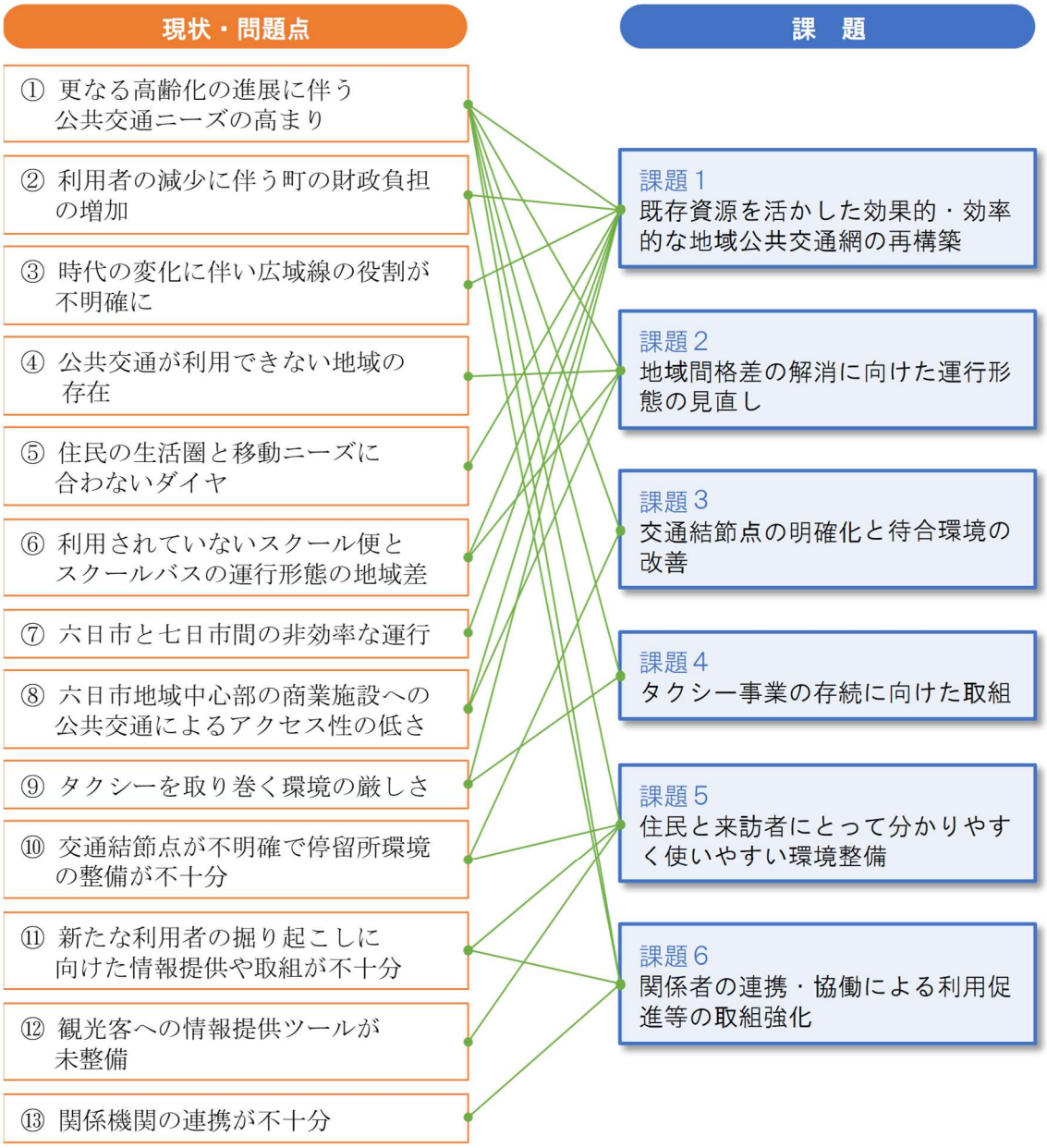
タクシーは柔軟できめ細やかなサービスを提供できることが強みであり、移動制約者の生活を支える地域公共交通として重要な役割を担っているため、タクシー事業の存続に向けてタクシー事業の収益増や運転手確保に繋がる取組が必要です。

課題５　住民と来訪者にとって分かりやすく使いやすい環境整備（①⑩⑪⑫）

本町の主な公共交通利用者は高齢者であることから、特に分かりやすい情報提供やバリアフリーへの対応が求められます。車両や停留所等のハード面、情報提供等のソフト面の両面において、分かりやすく使いやすい環境整備が必要です。
また、来訪者が移動手段の１つとして公共交通を選択できるように、観光施策との連携が必要です。

課題６　関係者の連携・協働による利用促進等の取組強化（①②⑪⑬）

地域公共交通を持続可能なものにするためには、町民、各種団体、交通事業者、行政等の関係者が課題や目標を共有した上で、連携・協働し、「町民自ら公共交通を守る意識」の醸成を図るとともに、利用促進の取組強化や、地域の活性化につながる公共交通の新たな活用を検討する必要があります。



図表-67　現状・問題点と課題の関係整理